

### 「立ち上がってください」

(詩篇15・1～15)

#### 一、信仰はくり返しが必要

表題に「ダビデの祈り。」とありますので、「ダビデ」の詩として読んでまいります。1節、2節をご覧ください。主よ、聞いてください。正しい訴えを。

耳に留めてください。私の叫びを。耳に入れてください。私の祈りを。これらは欺きの唇から出たものではありません。あなたの唇から出たものではありません。私のためには祈りが行われ、御目が、正しいことに注がれますように。と詩人は、主なる神の名を口にして訴えています。17篇

をダビデによる作とすると、私たちは次のように思うのではないのでしょうか。「ダビデは幾度となく脅威に接している。その都度主に祈り訴え、勝利に導かれている。しかし、また神に祈り訴えている。そのくり返しではないか」と。ですが詩篇から教えられるのは、まさしくそのことであると思われまます。困った問題に遭遇し、神に祈り訴えます。神は神の方法で助けてくださり、聖霊により私たちを、神への信頼に導かれます。ですが、次に問題がやって来ると、前回と同じように「主よ、聞いてください。助けてください」と祈り訴えるのです。信仰とはそういうものなのか

も知れません。「主よ」と祈り訴え、「大丈夫だ」という確信を得たとしても、それは自分自身が強くなることではないのです。主に祈り訴えるなら道が開かれる、という術を知っただけなのです。信仰生活には、福音をくり返して聞くという教会生活が必要です。

#### 二、心の清さが必要

3節を見てまいります。あなたは私の心を調べ、夜、私を問いたただれました。私を妒で試されましたが、何も見つかりません。私は、口の過ちを犯さないように心がけました。とあります。神と交わる際に必要なのは、心の清さです。その場合の清さとは、自分が造り上げる清さではありません。人間が造り出す清さは、神の前には汚れたものです。主が求めておられる心の清さとは、「自分には何にもない」と心底知っている心です。主イエスはおっしゃいました。マタイ5・8 (新共同訳) 心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。と。神の前に出るときは、何も着飾らないことが大切です。自分のありのままの姿を主に見ただけのです。そうするなら、神は受け入れてくださいます。心の清さとは、自分を飾らない人です。神の前に、ありのままの姿で祈る人です。

#### 三、祈りは人を引き上げる

私たちが神を信じる者が祈ると、何が起るのでしょうか。多くの場合、現実が変わるのではなく、祈っている本人が主に取り扱われて引き上げられます。すなわち、思いが変えられます。6節をご覧ください。神よ、私はあなたを呼び求めました。あなたは私に答えてくださるからです。私に耳を傾けて、私のことを聞いてください。と、「ダビデ」は再び祈り訴えています。一見して1節と似ていますが、異なります。どのように異なるのでしょうか。1節のように、ただ必死に祈り訴えているのではなく、少し余裕が出てきているように読み取られます。神への信頼が篤くなっています。あなたは私に答えてくださるからです。私に耳を傾けて、私のことを聞いてください。と祈っているからです。祈りは、現実を変える前に、祈った本人を主が取り扱い、引き上げてくださいます。10節、11節、12節がそのことを物語っています。彼らは鈍い心を固く閉ざし、その口をもって高慢に語ります。彼らは私たちの跡をつけ、今、取り囲み、目を据えて、地に投げ倒そうとしています。それはまるで、かみ裂くことに飢えた獅子、待ち伏せしている若い獅子のようです。と。そして、「ダビデ」は祈っています。13節です。主よ、立ち上がり、彼の前に進み行き、打ちのめしてください。あなたの剣で、悪しき者から、私のた

ましいを助け出してください。と。正直で良いのですが、やや残念な気持ちになるかも知れません。主から油が注がれた「ダビデ」ではありませんが、「ダビデ」の限界です。もう一人の、主から油を注がれた主イエスは、十字架の上で、御自身を十字架につけた人たちのために祈られました。ヘブル力23・34b 「父よ、彼らをお赦しください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」と。ここに、信仰の人「ダビデ」にできなかった、祈りの完成形を見ます。だからと言って、「ダビデ」を責めることはできません。たいせつなのは、自分の弱さや醜さを神の前には隠すことなく、ありのままの姿で向き合うことです。

最後に15節を見て終わります。へしかし私は、義のうちに御顔を仰ぎ見、目覚めるとき、御姿に満ち足りるでしょう。と。最近の出来事を思い出せば、夜な夜な主の前に祈りました。しかし主は「ダビデ」を取り扱ってくださり、いつものように、神への信頼に導かれました。「心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る」とイエスさまがおっしゃったとおりになりました。私たちも同じです。ありのままの姿で主の前にぬかずくとき、へしかし私は、義のうちに御顔を仰ぎ見、目覚めるとき、御姿に満ち足りるでしょう。ととなります。